
地域福祉計画・地域福祉実践計画策定にかかる
いつまでも住み続けられるまち 住民アンケート調査
調査結果報告書

令和7年1月

目次

1. はじめに	3
2. 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査方法	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査期間	3
(5) 回収結果	3
(6) 本報告書中の記号	3
(7) 過去に実施した調査との比較について	3
3. アンケート調査結果	4
問1 あなたの性別を教えてください。(SA)	4
問2 あなたの年齢を教えてください。(SA)	4
問3 あなたのお住まいを教えてください。(SA)	5
問4 あなたは鷹栖町に住み続けたいと思いますか。(SA)	6
問5 あなたは町内会に加入していますか。(SA)	7
問6 あなたはとなり近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。(SA)	7
問7 あなたは人生が面白いと思いますか。(SA)	8
問8 過去と比較して現在の生活は幸せですか。(SA)	8
問9 ここ数年やってきたことを全体的に見て、あなたはどの程度幸せを感じていますか。(SA)	9
問11 非常に強い幸福感を感じる瞬間がありますか。(SA)	10
問12 あなたは鷹栖町内で地域活動やボランティア活動、サポーター活動をしていますか。(SA)	10
問13 活動をしたきっかけ、動機は何ですか。(MA)	11
問14 なぜ今は活動していないのですか。(MA)	11
問15 地域での活動への関心の有無について教えてください。(SA)	12
問16 関心はあるが活動していない理由は何ですか。(MA)	12
問17 現在、悩みや不安に感じていることはありますか。(MA)	13
問18 あなたは悩みや不安について、どこかに・誰かに相談したことはありますか。(MA)	14
問19 サンホールはびねすには、生活福祉相談センターがありますが知っていますか。(SA) ..	15
問20 サンホールはびねす2階に「あったかステーション」を開所しましたが、知っていますか。(SA) ..	15
問21 現在、働いていますか。(パート・アルバイト・内職も含む)(SA)	16
問22 現在の仕事以外にも、副業や臨時の仕事をしてお小遣いを稼ぎたいと思いますか。(SA)	16
問23 副業や臨時の仕事で月にどの程度稼ぎたいですか。(SA)	17
問24 働くことに対してどのくらい意欲がありますか。(SA)	17
問25 1日に何時間位働きたいですか。(SA)	18
問26 仕事や副業を探す際にどのような方法で情報を得ますか。(MA)	18
問27 あったかステーションのサービスに関心を持つ理由や、期待することは何ですか。(MA) ..	19
問28 今後、あったかステーションのサービスを利用したいと思いますか。(SA)	19

問 29	役場や社会福祉協議会が取り組むべき施策として重要と考えるものを教えてください。(MA)	20
問 30	あなたの住んでいる地区の民生委員・児童委員を知っていますか。(SA)	22
問 31	あなたの住んでいる地区の福祉委員を知っていますか。(SA)	22
問 32	鷹栖町社会福祉協議会を知っていますか。(SA)	23
問 33	あなたは鷹栖町社会福祉協議会の会員であることを知っていますか。(SA)	23
問 34	鷹栖町の福祉行政や鷹栖町社会福祉協議会への意見や要望(自由記載)	24

1. はじめに

本報告書は、町の地域生活課題を明らかにし、その解決のために必要となる施策や目標を設定する「鷹栖町地域福祉計画」と、鷹栖町社会福祉協議会が目指す福祉のまちづくりを示す「鷹栖町地域福祉実践計画」の作成に向けて、鷹栖町の状況に関する基礎資料を得ることを目的に鷹栖町の全世帯を対象に実施した「いつまでも住み続けられるまち 住民アンケート（令和6年8月実施）」の調査・分析結果をまとめたものである。

本報告書では平成25年3月及び平成31年3月に実施した過去の調査との比較も含めながら、鷹栖町における「1. 自身の人生に対する幸福感」「2. 地域における付き合いや活動への参加状況」、「3. 生活上の悩みや不安・必要な支援」、「4. 就労や社会参加に対する意識」を整理した上で、「5. いつまでも住み続けられるまち 鷹栖町」に向けた課題や方向性について提示する。

2. 調査の概要

(1) 調査の目的

鷹栖町における地域の福祉の現状及び町民の意向・ニーズを把握し、「第2期地域福祉計画」及び「第3期地域福祉実践計画」策定のための基礎資料とする。

(2) 調査方法

令和6年7月1日現在において広報配布世帯及び広報未配布世帯のうち居住を把握している世帯。

(3) 調査方法

調査票を町内会班長に広報と合わせて配布し、回覧板、班長等の訪問、郵送により回収した。

(4) 調査期間

令和6年8月1日（木）～令和6年8月30日（金）

(5) 回収結果

2,465世帯への配布に対し、有効回収数は1,797世帯、回収率は72.9%であった。

(6) 本報告書中の記号

①SA・・・単一回答（Single Answer）の略。選択回答は1項目のみ。

②MA・・・複数回答（Multi Answer）の略。回答する選択肢の数に制限がある。

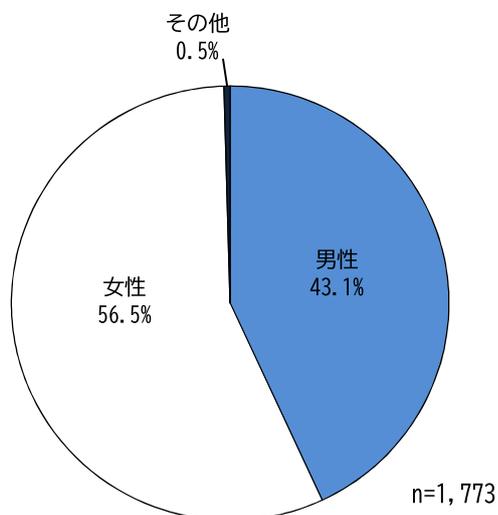
(7) 過去に実施した調査との比較について

報告書の中で、過去に実施した調査の結果を記載がある。調査結果については平成24年度と平成31年度に実施したアンケート調査のものであり、報告書中では「平成24年度調査」及び「平成31年度調査」と記載する。

3. アンケート調査結果

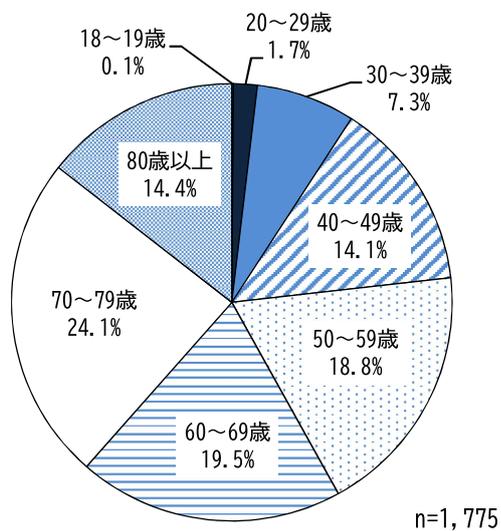
問1 あなたの性別を教えてください。(SA)

性別については、「男性」が43.1%、「女性」が56.5%、「その他」が0.5%となっている。

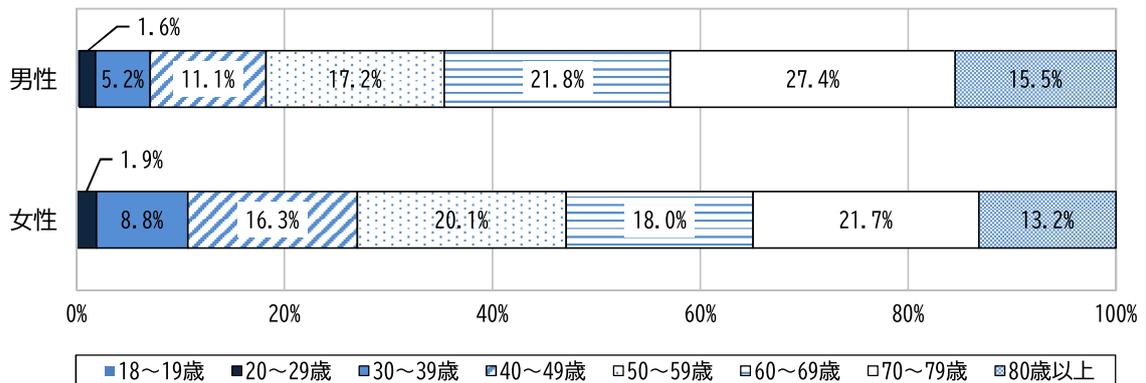


問2 あなたの年齢を教えてください。(SA)

年齢については、「70～79歳」が24.1%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.5%、「50～59歳」が18.8%となっている。



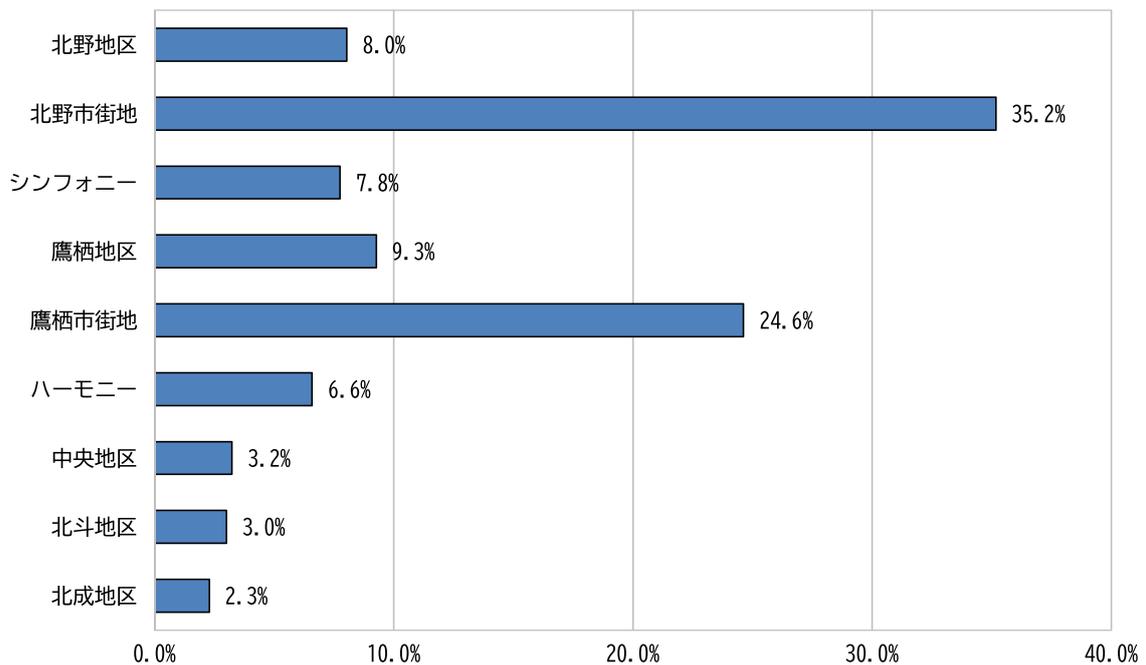
性別に年齢をみると、「女性」では「30～39歳」「40～49歳」の割合が、「男性」の割合より高くなっており、「男性」では、「60～69歳」「70～79歳」の割合が「女性」の割合より高くなっている。



n=1,763

問3 あなたのお住まいを教えてください。(SA)

居住地区については、「北野市街地」が35.2%と最も高く、次いで「鷹栖市街地」が24.6%となっており、概ね世帯比率と同じ率での回答率となっている。

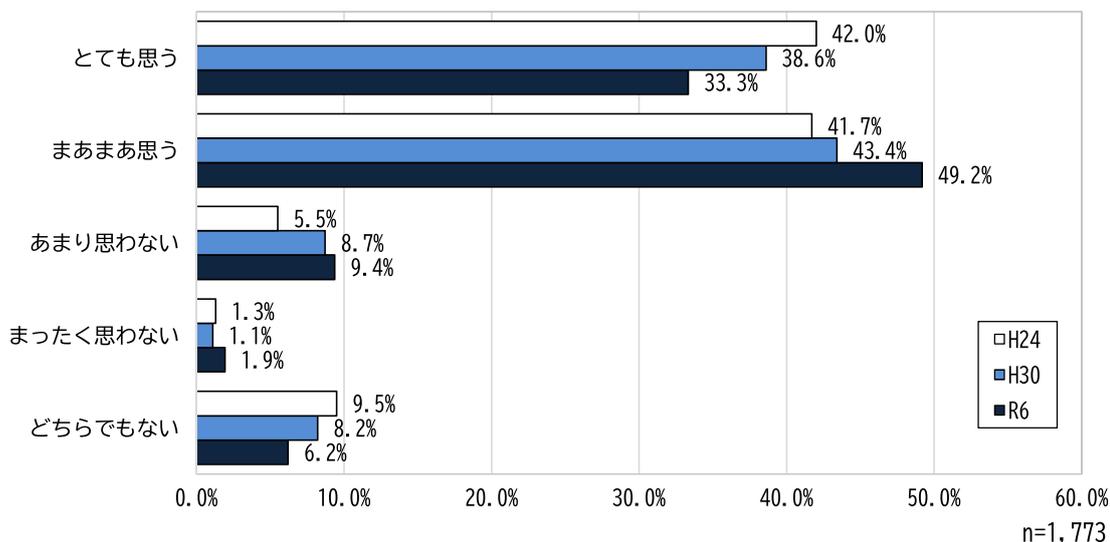


n=1,791

問4 あなたは鷹栖町に住み続けたいと思いますか。(S A)

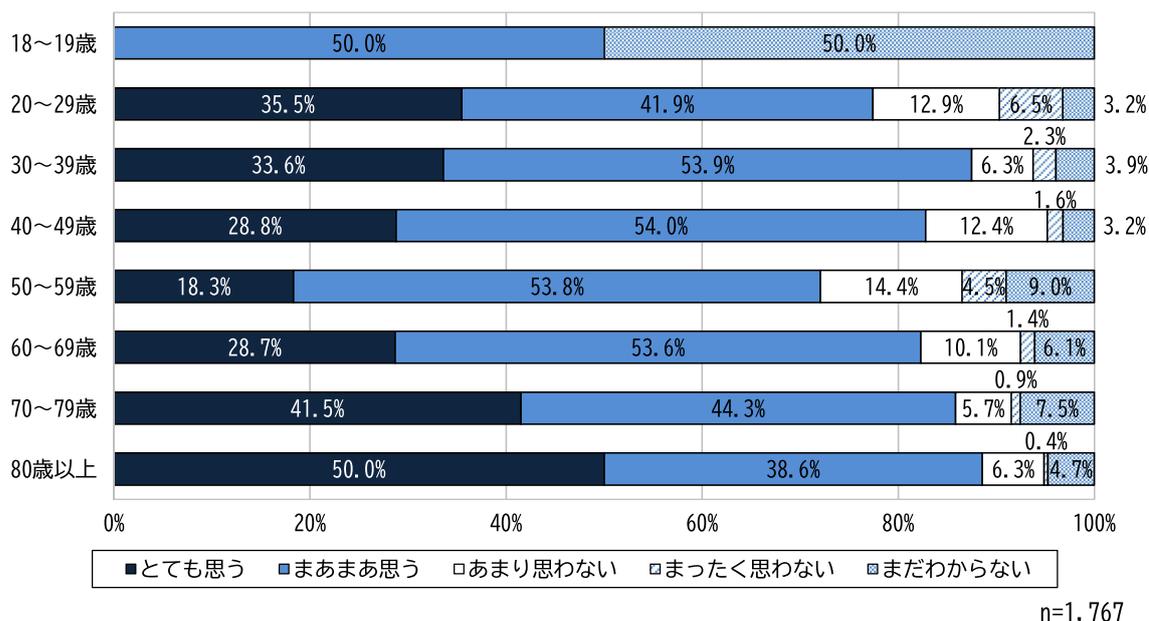
鷹栖町に住み続けることへの意識については、「とても思う」(33.3%)と「まあまあ思う」(49.2%)を合わせると8割を超える人が住み続けることに肯定的な意識を持っていた。

しかし、平成24年度調査と比較して、「とても思う」が8.7ポイント減少し、「まあまあ思う」が7.5ポイント上昇しており、鷹栖町に住み続けたいと強く思う住民が年々減少していることを示しているとともに、「あまり思わない」「全く思わない」が微量ではあるが、上昇しているところも注目すべき部分である。



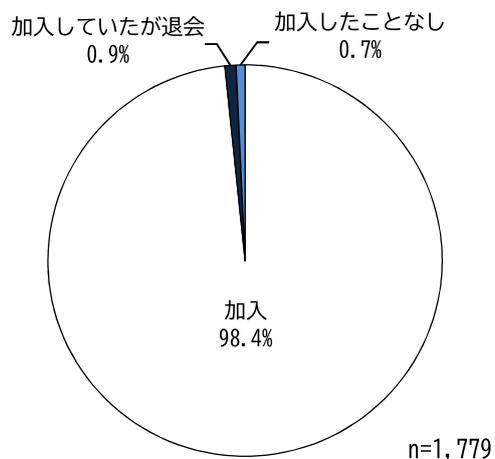
年齢別に住み続けることへの意識をみると、20代から50代にかけて「とても思う」の割合が減少し続け、60代から上昇している。

このことから、子育て世代や高齢者は、鷹栖町に住み続けたいと強く思う住民が多い一方で、老後のことを考え始める40代や50代は将来への不安から、割合が減少しているのではないかと推測することができる。



問5 あなたは町内会に加入していますか。(S A)

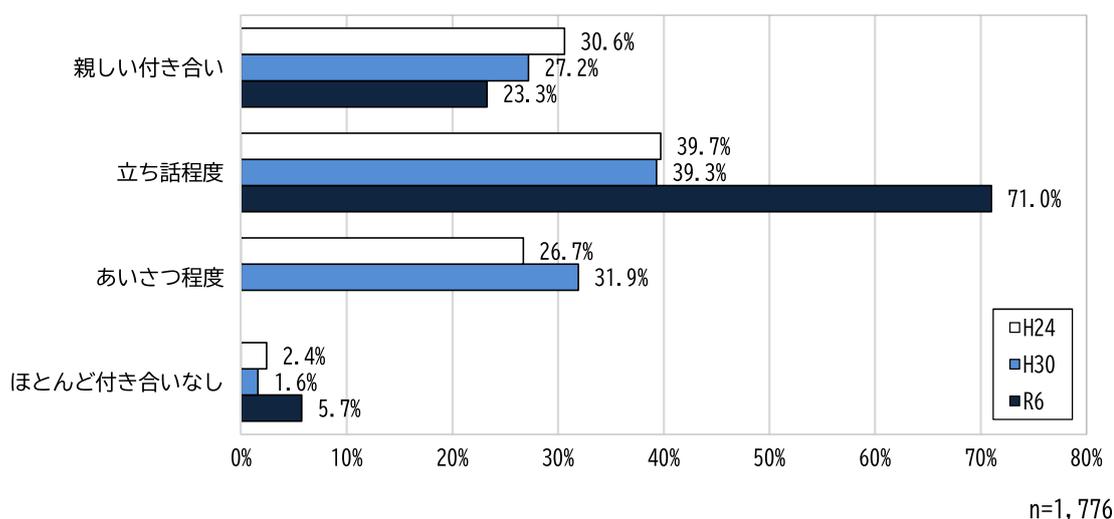
町内会への加入については、98.4%とほとんどの世帯が加入している状況となっている。



問6 あなたはとなり近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。(S A)

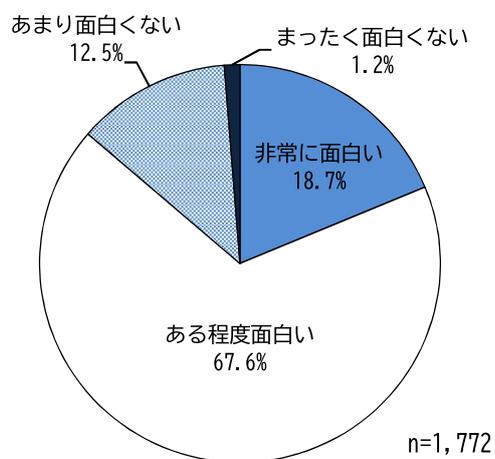
となり近所の方との付き合いに関しては、令和6年度調査において、「あいさつ程度」の項目を削除したため、「立ち話程度」(71.0%)のポイントが急上昇しているが、平成30年度調査における「立ち話程度」と「あいさつ程度」を合計したポイント(71.2%)とは差がほぼない。

一方で、「親しい付き合い」のポイントが減少し、「ほとんど付き合いなし」のポイントが上昇していることから、ご近所付き合いは年々少なくなっていることが推察される。



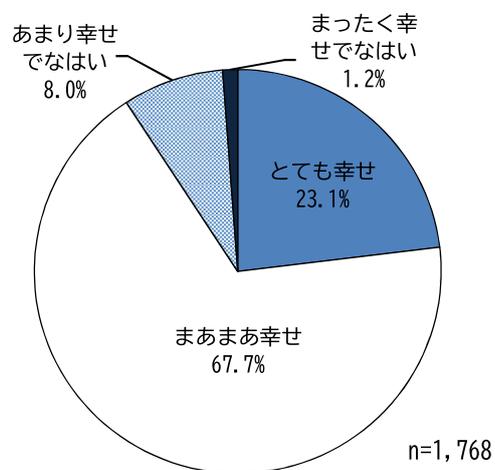
問7 あなたは人生が面白いと思いますか。(SA)

自身の人生の面白さについては、「非常に面白い」が18.7%、「ある程度面白い」が67.6%とほとんどの住民が自身の人生を面白いと感じている。



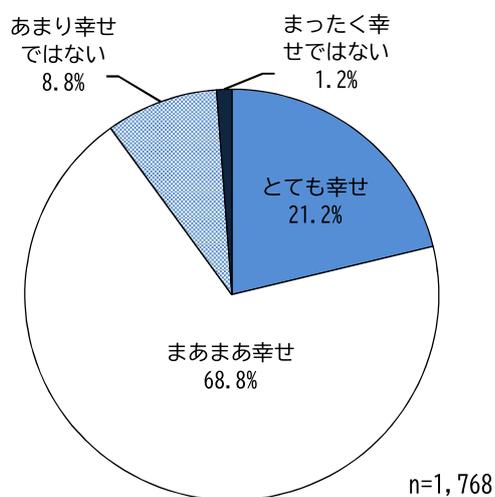
問8 過去と比較して現在の生活は幸せですか。(SA)

過去と比較した幸福感については、「とても幸せ」が23.1%、「まあまあ幸せ」が67.7%とほとんどの住民が幸福感を感じている。



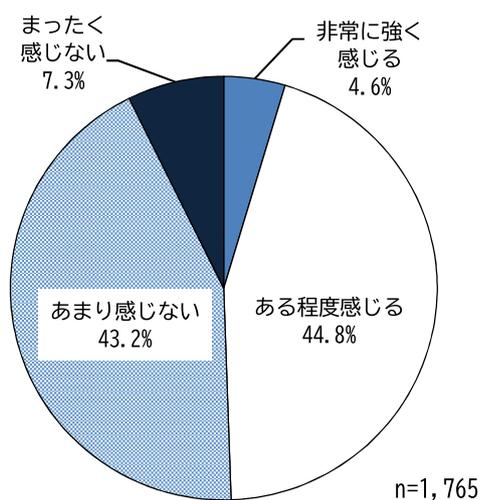
問9 ここ数年やってきたことを全体的に見て、あなたはどの程度幸せを感じていますか。(SA)

ここ数年間における幸福感については、「とても幸せ」が21.2%、「まあまあ幸せ」が68.8%とほとんどの住民が幸福感を感じている。



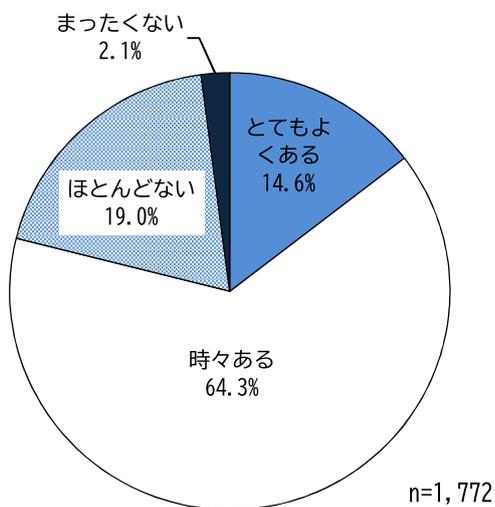
問10 自分がまわりの環境(地域や社会など)と一体化していて欠かせない一員であると感じることがありますか。(SA)

地域や社会から自身が必要と感じることについては、「非常に強く感じる」及び「ある程度感じる」といった感じる側(49.4%)と「あまり感じない」及び「まったく感じない」の感じない側(50.5%)が半々となっている。



問11 非常に強い幸福感を感じる瞬間がありますか。(S A)

非常に強い幸福感については、「とてもよくある」が14.6%、「時々ある」が64.3%とほとんどの住民が強い幸福感を感じている一方で、「ほとんどない」(19.0%)、「まったくない」(2.1%)と感じている住民が一定数いる状況となっている。

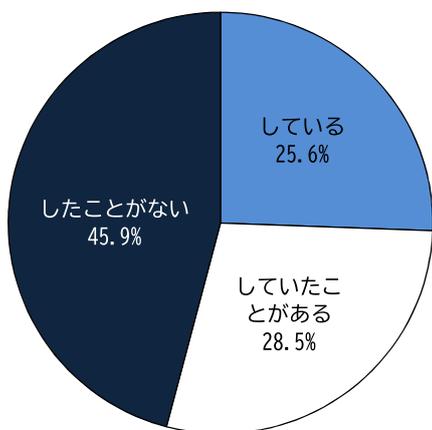


問12 あなたは鷹栖町内で地域活動やボランティア活動、サポーター活動をしていますか。(S A)

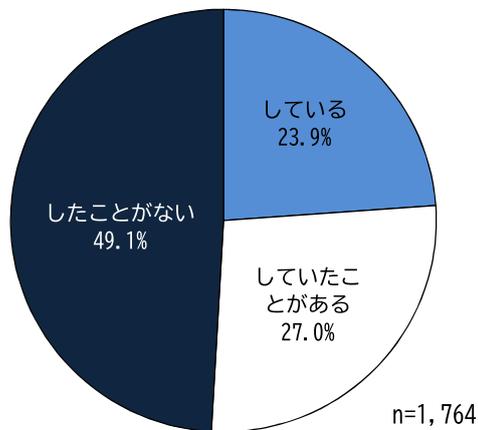
鷹栖町内での地域活動等への参加状況については、「している」(23.9%)「今はしていないがしたことがある」(27.0%)、そして「したことがない」(49.1%)という結果であった。

今後の住民の地域活動への参加を促すための方策には、現在している・していないということ以上に、それぞれ「している」、「今はしていない」、「したことがない」の動機や理由が重要である。

【平成30年度調査】

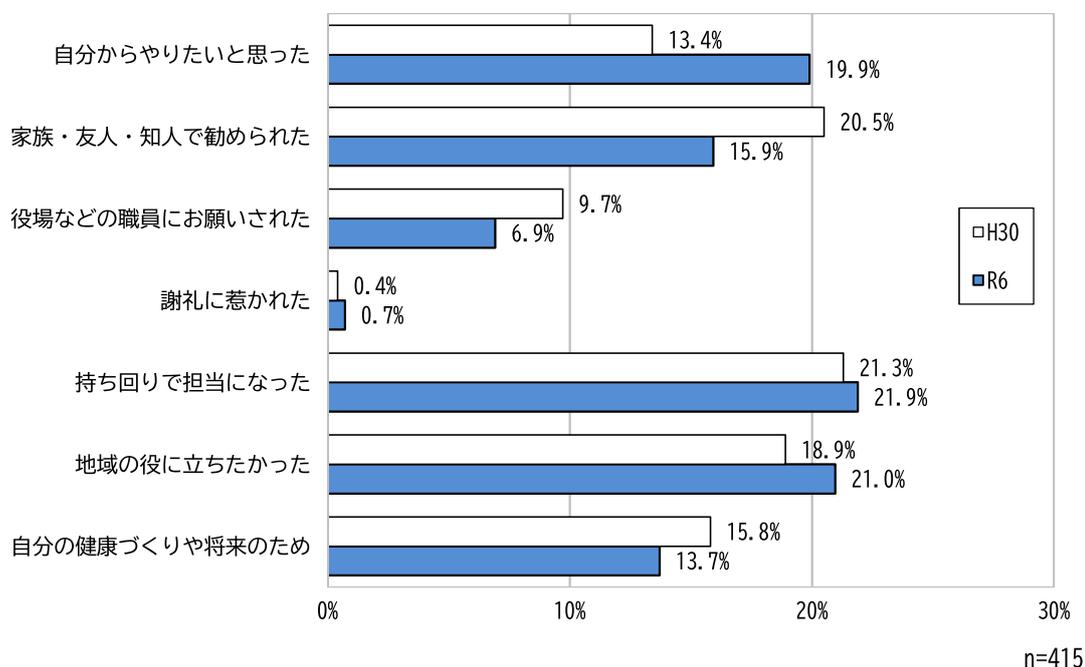


【令和6年度調査】



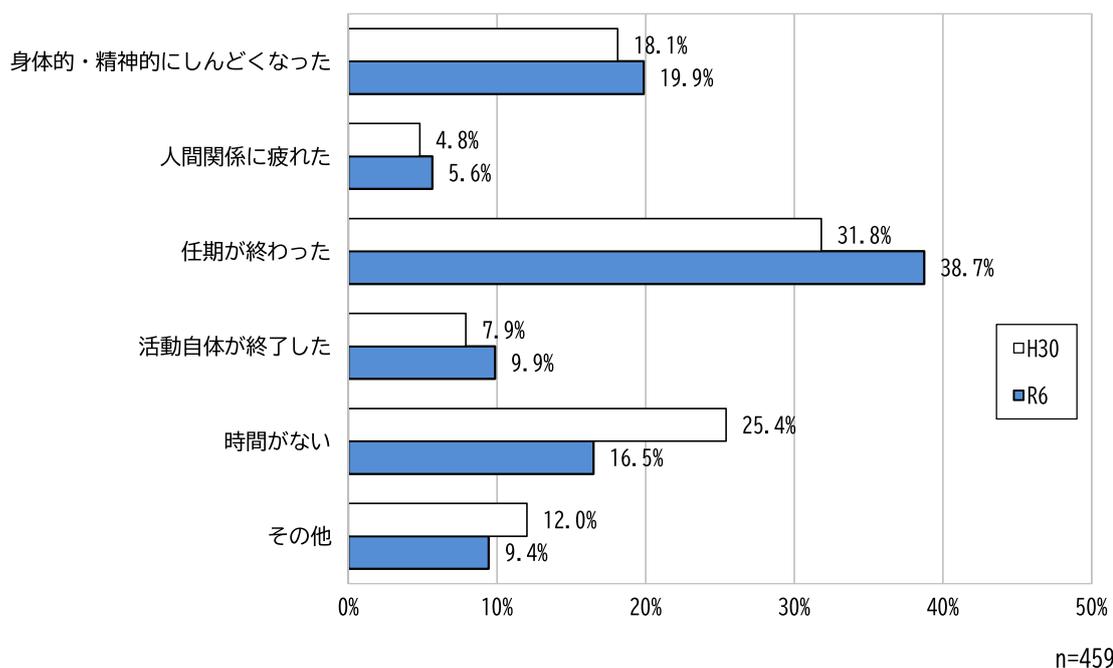
問13 活動をしたきっかけ、動機は何ですか。(MA)

活動していると回答した人のきっかけ、動機については、「自分からやりたいと思った」(19.9%)、「持ち回りで担当になった」(21.9%)、「地域の役に立ちたかった」(21.0%)の割合が高く、地域への貢献意欲を持って地域活動に参加している方も多くいることが分かる。



問14 なぜ今は活動していないのですか。(MA)

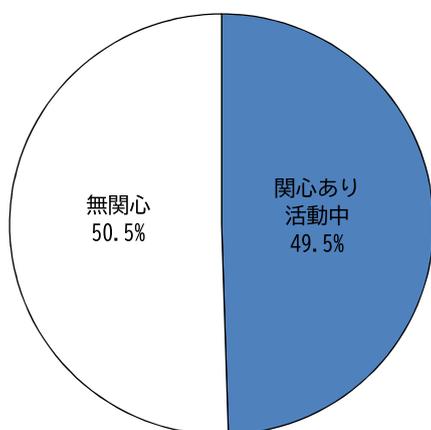
活動を今はしていないがしたことがあると回答した人の今はしていない理由については、「任期の終了」(38.7%)に次いで、「心身の疲れ」(19.9%)が多くなっている。



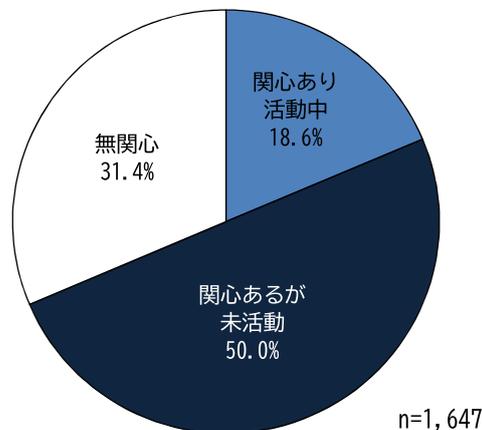
問 15 地域での活動への関心の有無について教えてください。(SA)

地域での活動参加への関心については、68.6%が「関心あり」と回答している。地域住民の約7割が興味はあるものの、その6割以上が活動まで至っておらず、この層を地域活動に巻き込むことが、地域づくりのポイントになると思われる。

【平成30年度調査】

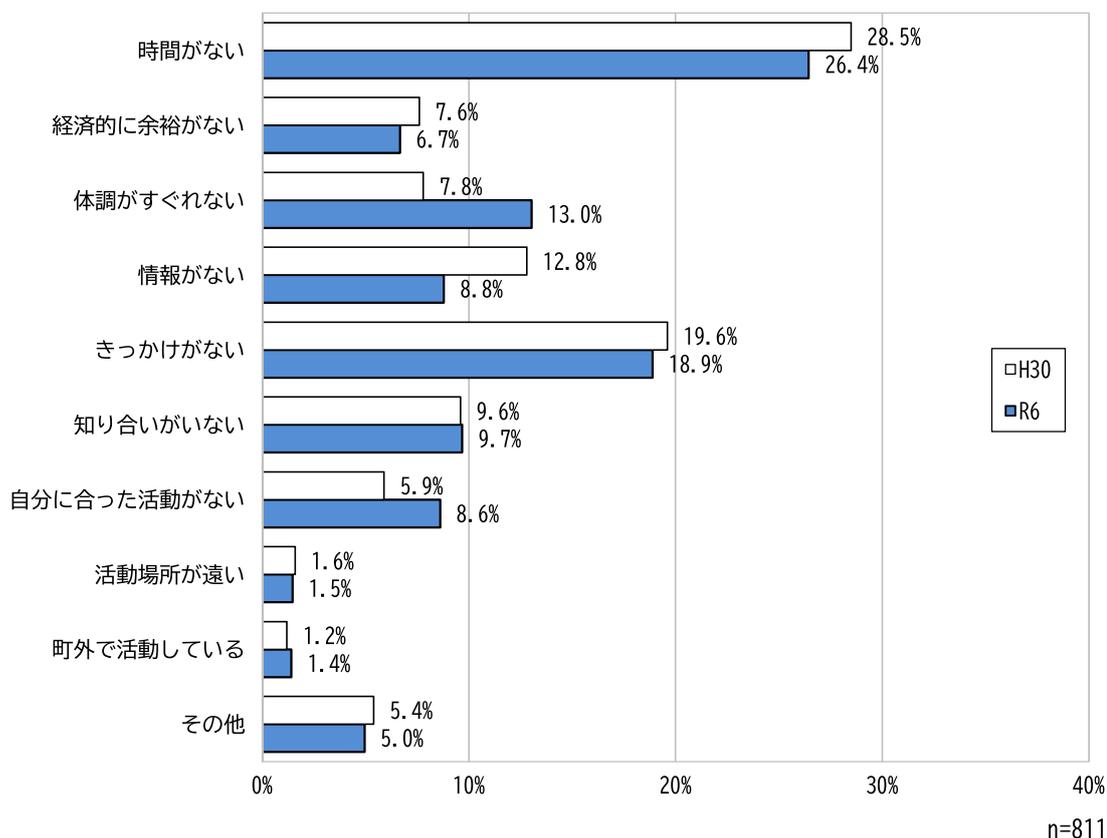


【令和6年度調査】



問 16 関心はあるが活動していない理由は何ですか。(MA)

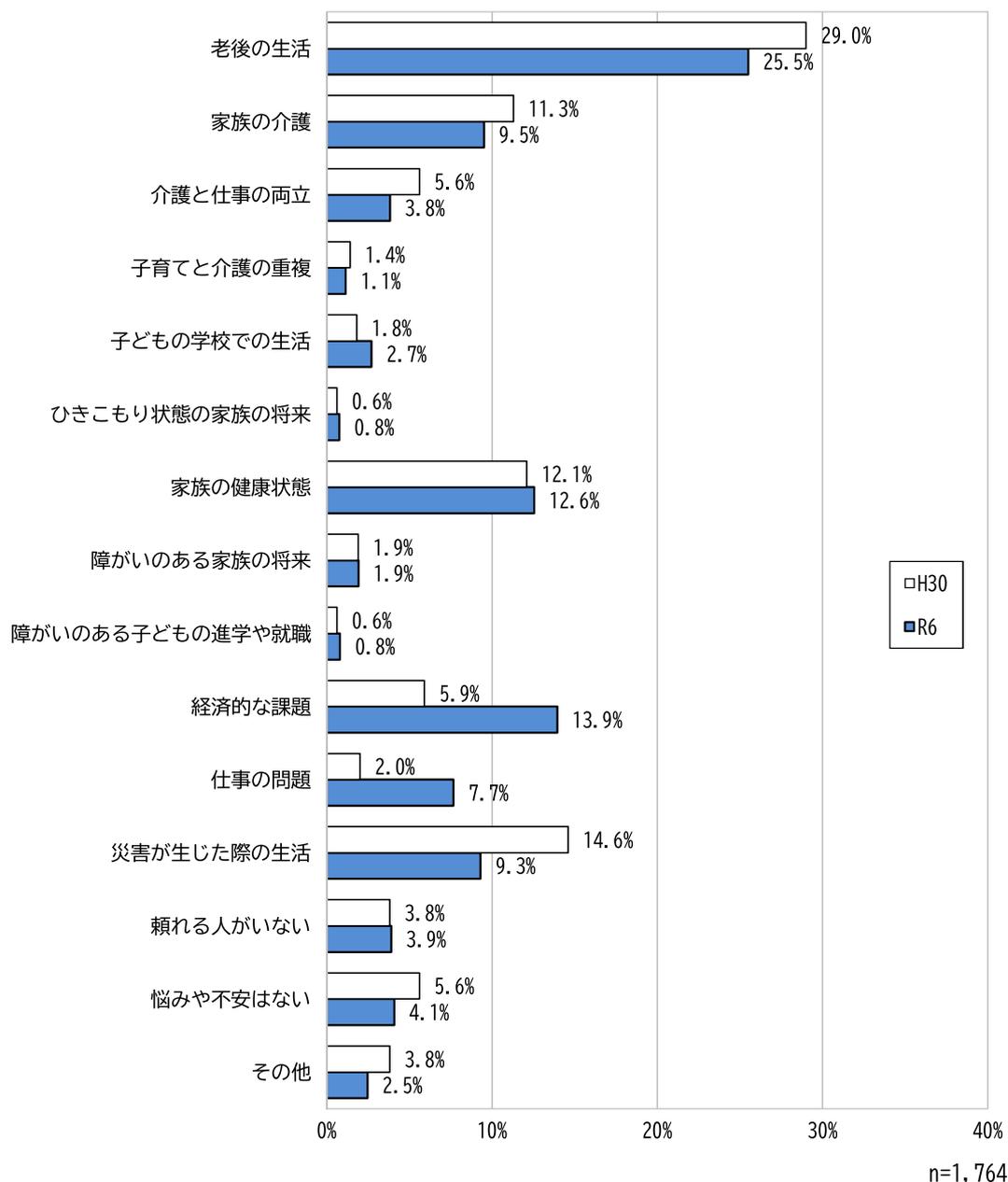
地域活動への関心はあると回答した人の活動していない理由については、「時間がない」(26.4%)が最も多くなっていたが、「始めるきっかけがない」(18.9%)や「どのような活動があるのか情報がない」(8.8%)、「自分に合った活動がない」(8.6%)など、支援や働きかけ次第で活動参加を促すことができる理由も一定数ある状況となっている。



問 17 現在、悩みや不安に感じていることはありますか。(MA)

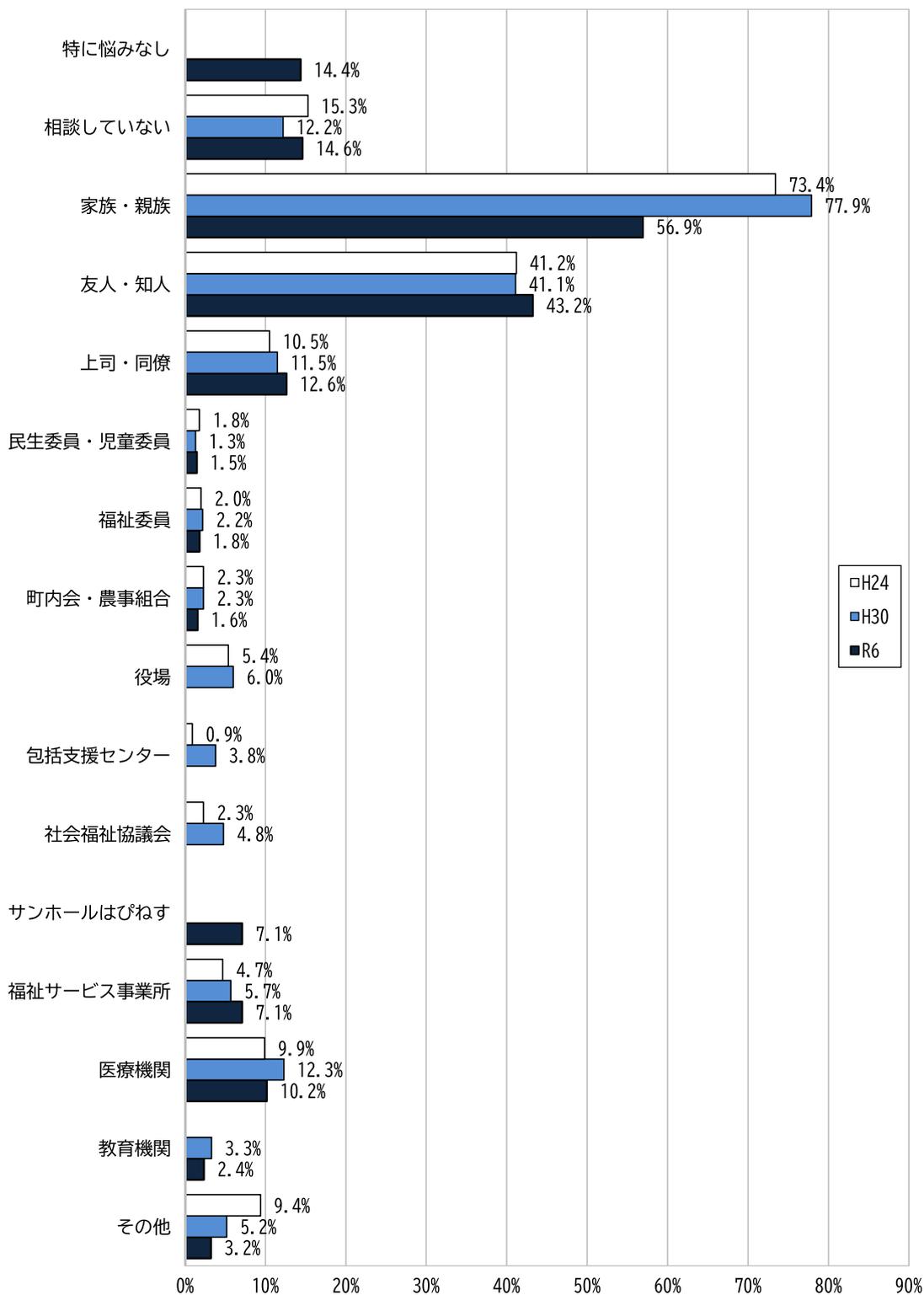
住民が現在感じている悩みや不安については、回答が多かった悩みや不安と、比較的回答が少なかった悩みや不安があることが分かる。

中でも、「老後の生活」(25.5%)、「家族の健康状態」(12.6%) についてが、前回調査に引き続き回答が多かった悩みや不安である。また、注目すべきは「経済的な課題」(13.9%)と「仕事の問題」(7.7%) が前回調査から大幅にポイントが増加している部分で、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の社会情勢の変化に伴う影響があると推察される。



問 18 あなたは悩みや不安について、どこかに・誰かに相談したことはありますか。
(MA)

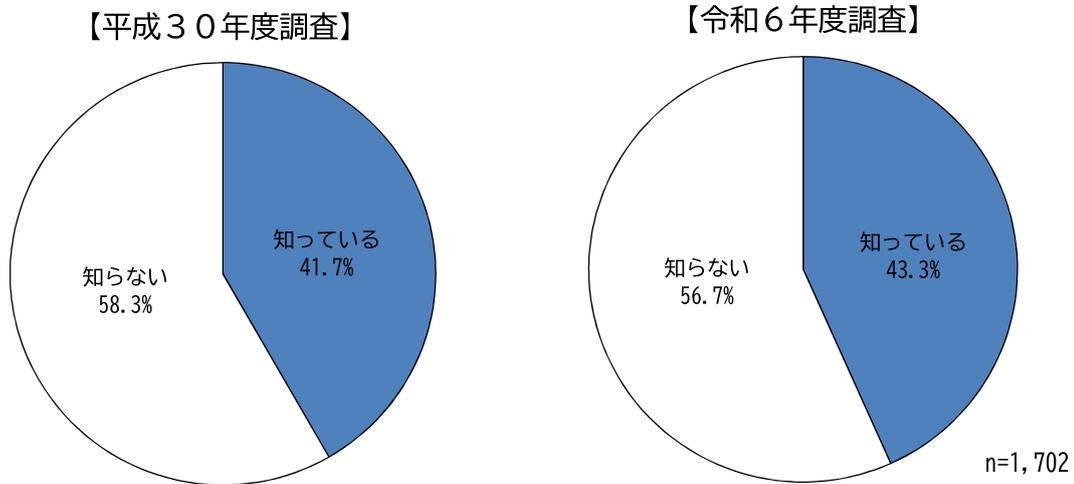
悩みや不安の相談先については、「家族・親族」(56.9%)、「友人・知人」(43.2%)が多くなっており、多くの住民は家族や近隣・友人などに相談できる方がいることが分かるが、一方で、家族や友人に相談できる方がいない住民は、悩みや不安を抱えながらも誰にも相談できずに孤立してしまう可能性が高くなることに注意が必要である。



n=1,702

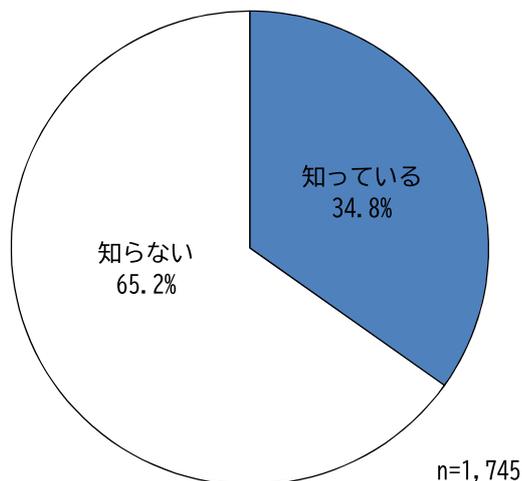
問 19 サンホールはびねすには、どのような内容の相談も受け対応する生活福祉相談センターがありますが知っていますか。(S A)

生活福祉相談センターの認知度については、「知っている」が43.3%、「知らない」が56.7%となっている。



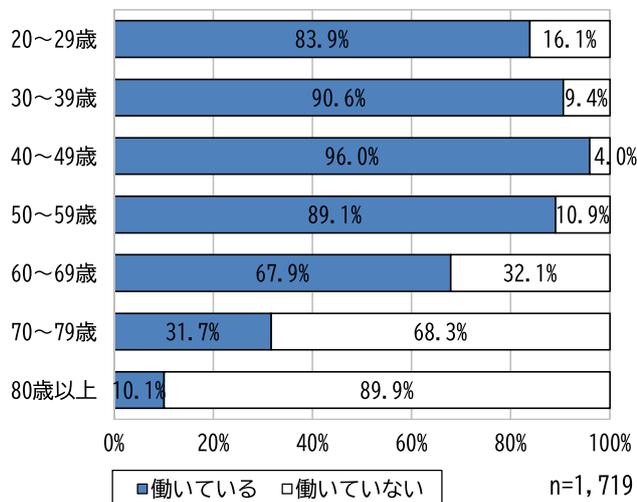
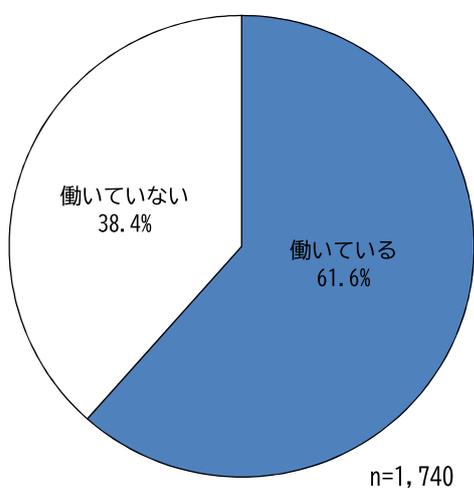
問 20 今年の4月より鷹栖町社会福祉協議会は高齢者事業団と統合し、働きたい人や人手を必要としている事業所の相談窓口として、サンホールはびねす2階に「あったかステーション」を開所しましたが、知っていますか。(S A)

あったかステーションの認知度については、「知っている」が34.8%、「知らない」が65.2%となっている。



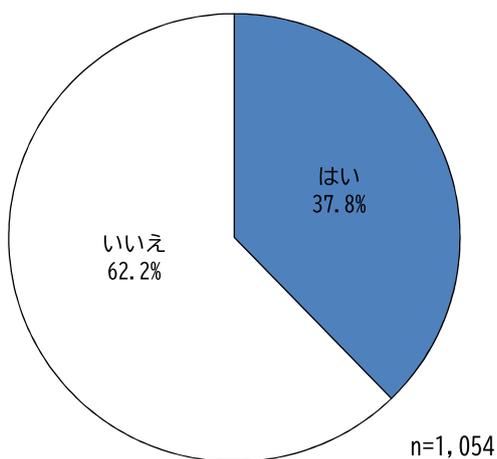
問 21 現在、働いていますか。(パート・アルバイト・内職も含む) (SA)

現在の就労状況については、「働いている」が61.6%、「働いていない」が38.4%となっている。年齢別に見ると、40代を境に就業率が低下していくが、70代以上の高齢者でも一定数の就業者がいる状況となっている。



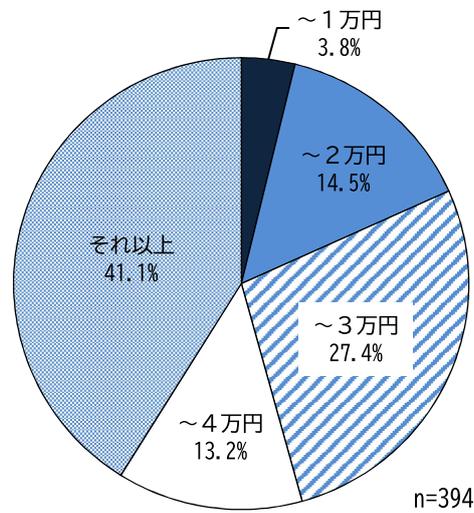
問 22 現在の仕事以外にも、副業や臨時の仕事をしてお小遣いを稼ぎたいと思いますか。(SA)

現在の就労している方の副業等に対する意向状況については、お小遣いを「稼ぎたいと思っている」が37.8%、「思っていない」が62.2%となっている。



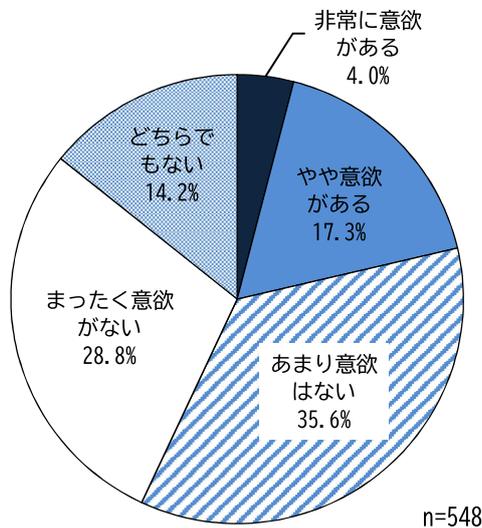
問 23 副業や臨時の仕事で月にどの程度稼ぎたいですか。(SA)

稼ぎたいと思う金額については、「1万円～4万円」が全体の55.1%を占めており、その中でも「2万円～3万円」が27.4%と最も高くなっている。



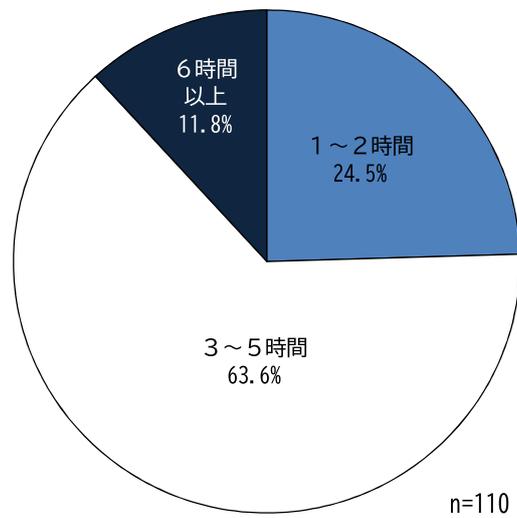
問 24 働くことに対してどのくらい意欲はありますか。(SA)

現在の就労していない方の就労意欲については、「非常に意欲がある」が4.0%、「やや意欲がある」が17.3%となっている。



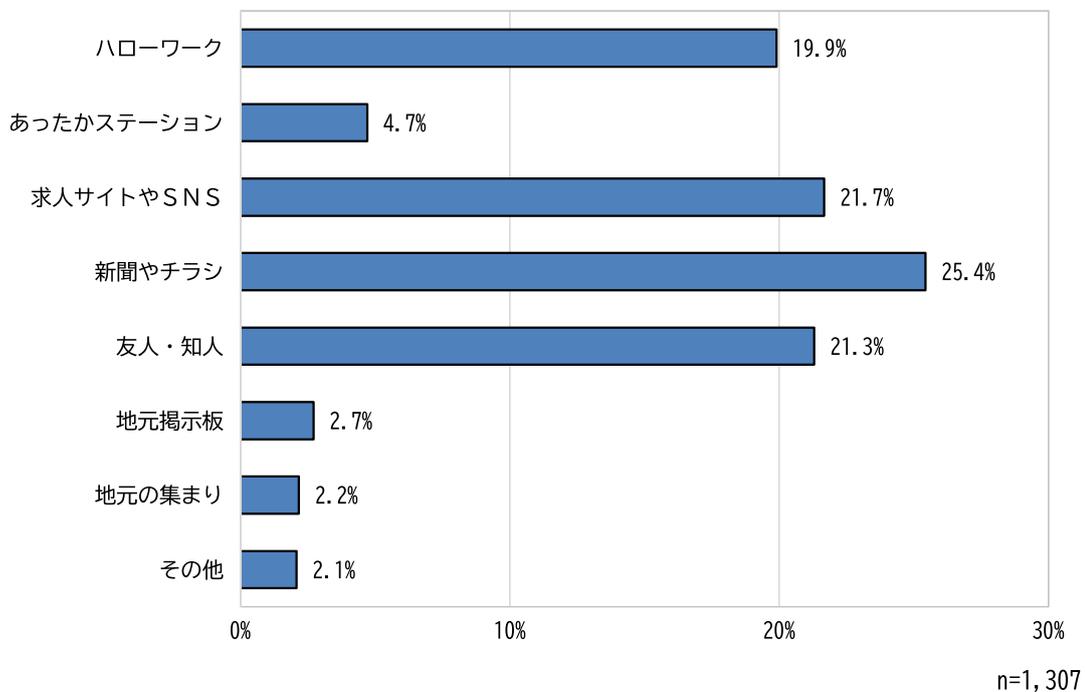
問 25 1日に何時間働きたいですか。(SA)

就労意欲のある方の希望する就労時間については、「3～5時間」が63.6%と最も高くなっている。



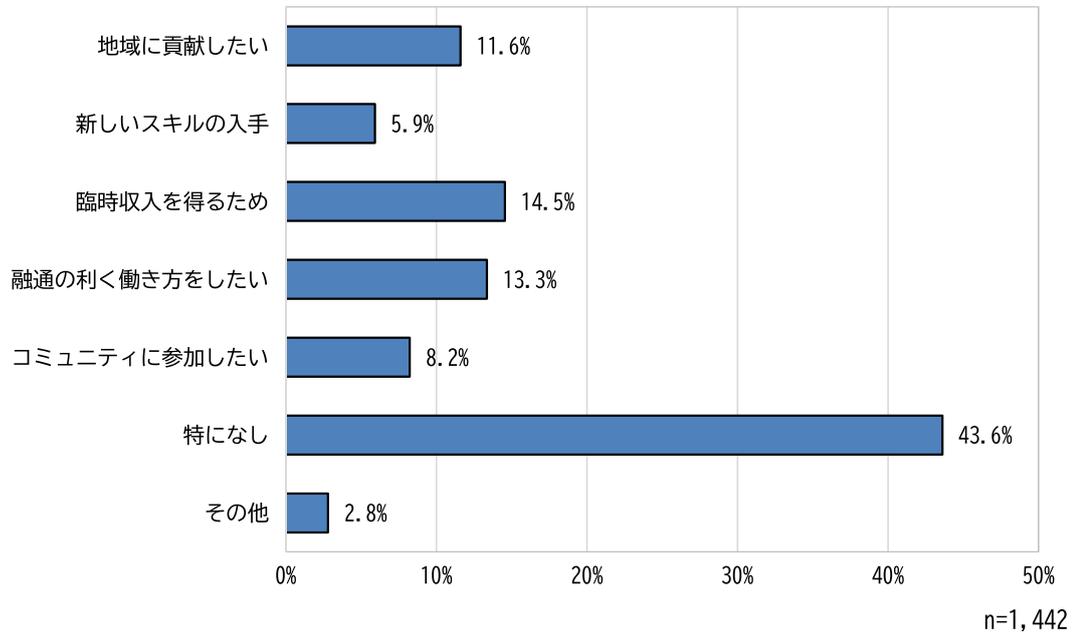
問 26 仕事や副業を探す際にどのような方法で情報を得ますか。(MA)

仕事の情報収集方法については、「新聞やチラシ」が最も多い42.9%となっており、「ハローワーク(33.6%)」、「求人サイトやSNS(36.6%)」、「友人・知人(36.0%)」がなっており、様々な方法で収集していることが分かる。



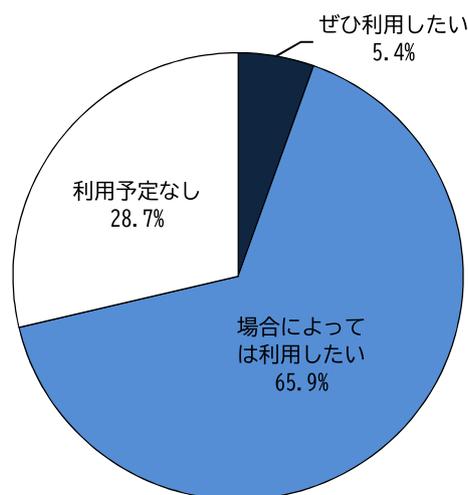
問 27 あったかステーションのサービスに関心を持つ理由や、期待することは何ですか。(MA)

あったかステーションに期待すること等については、「特になし」が 58.5%と最も多い結果となっているが、回答数 843 件のうち 577 件（割合にして 68.4%）は「あったかステーションを知らない」と回答しているため、認知率が大きく影響していると推察される。



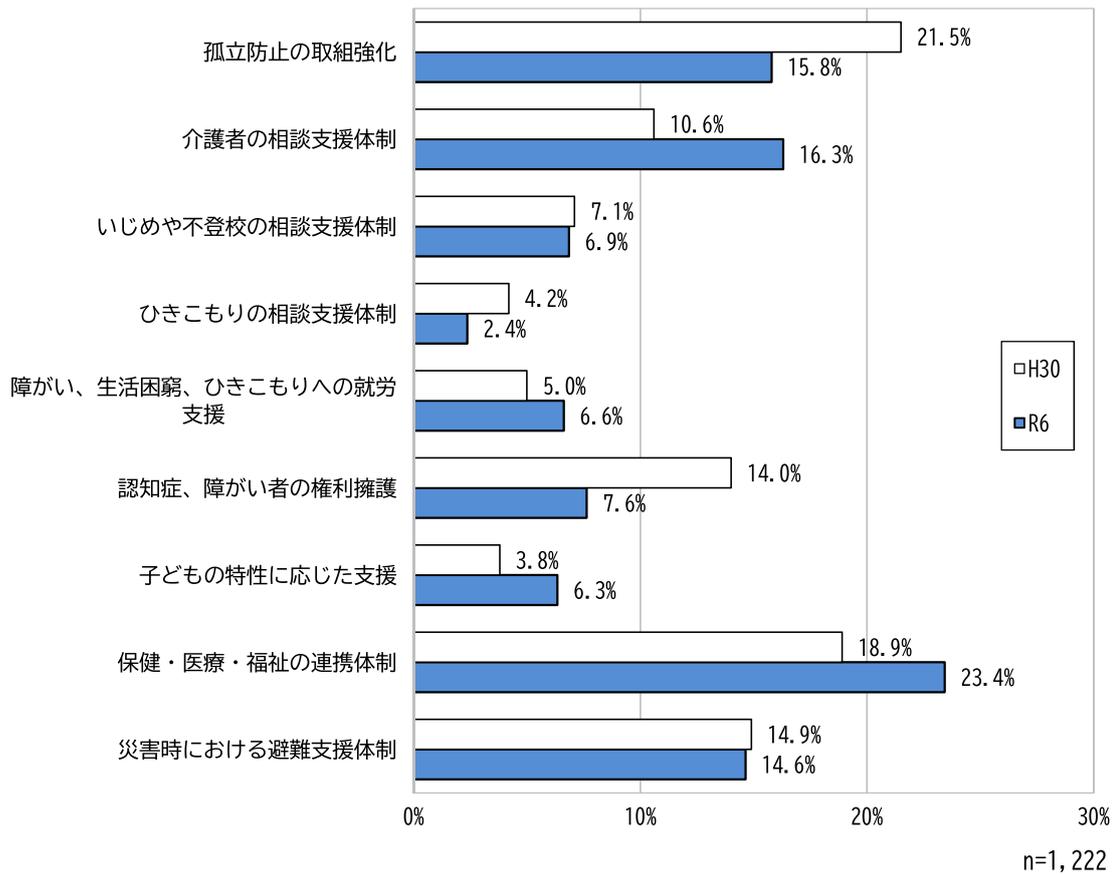
問 28 今後、あったかステーションのサービスを利用したいと思いますか。(SA)

あったかステーションの利用希望については、「ぜひ利用したい」が 5.4%、「場合によっては利用したい」が 65.9%と約7割の方が、利用について前向きに考えている。



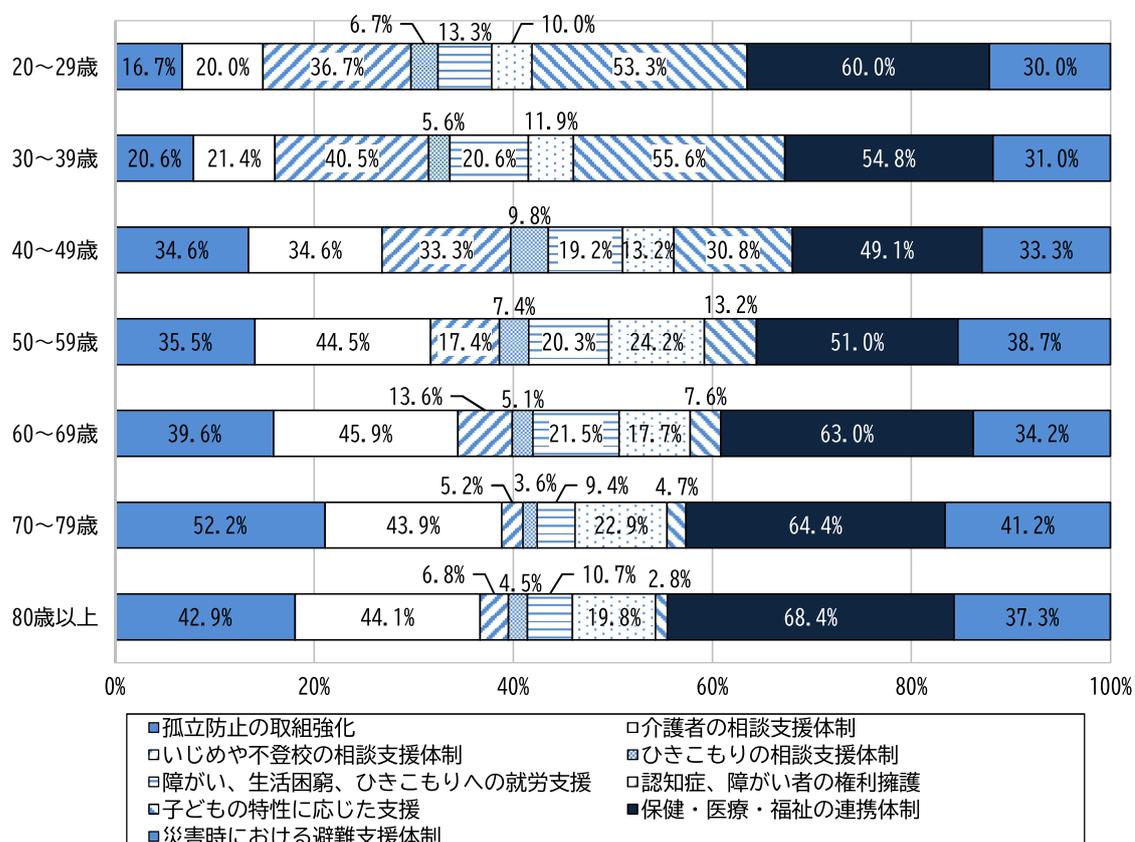
問 29 役場や社会福祉協議会が取り組むべき施策として重要と考えるものを教えてください。(MA)

取り組むべき重要な施策については、「保健・医療・福祉の連携体制」が 23.4%と最も高く、前回調査から 4.5 ポイントと高く上昇している。さらには、「介護者の相談支援体制」(16.3%)、「障がい、生活困窮、ひきこもりへの就労支援」(6.6%)、「子どもの特性に応じた支援」(6.3%) もそれぞれ上昇しており、様々な施策に対して重要だと考えている住民が増えていることが分かる。



年齢別に取り組む重要な施策の意識をみると、年齢が上昇するにつれて「孤立防止の取組強化」「介護者の相談体制」「保健・医療・福祉の連携体制」の割合が上昇しており、「ひきこもりの相談支援体制」「子どもの特性に応じた支援」の割合は減少している。

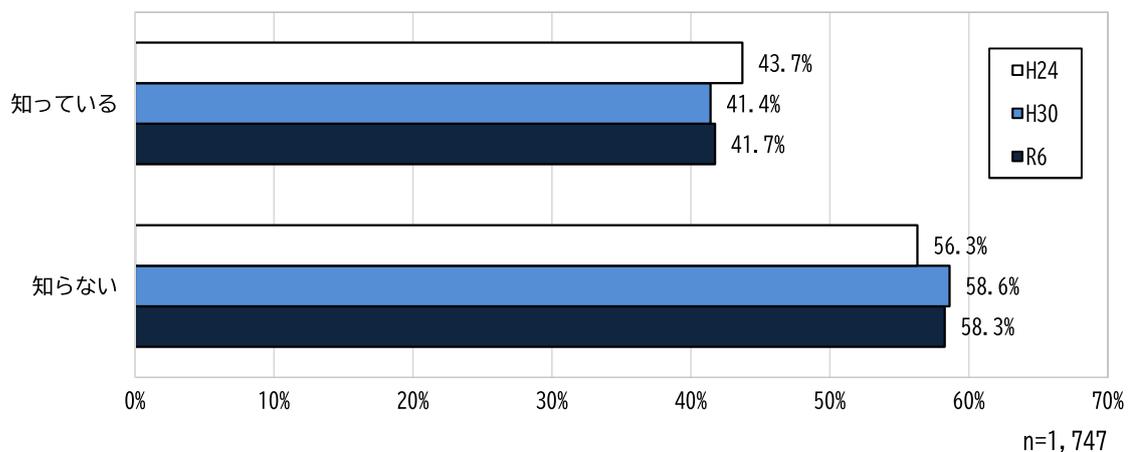
なお、「災害時における避難支援体制」については、全年代において、一定の割合がいることが示されている。



n=1,555

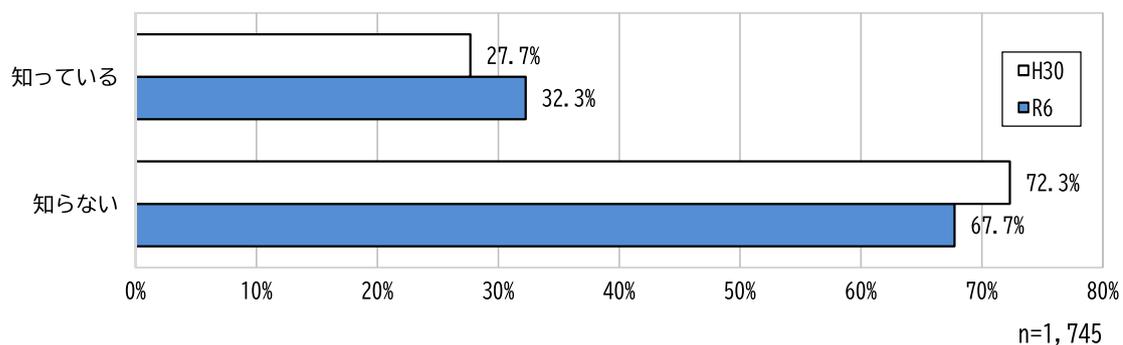
問 30 あなたの住んでいる地区の民生委員・児童委員を知っていますか。(S A)

民生委員・児童委員の認知度については、「知っている」が41.7%、「知らない」が58.3%となっており、過去の調査と比較しても差はほとんどない。



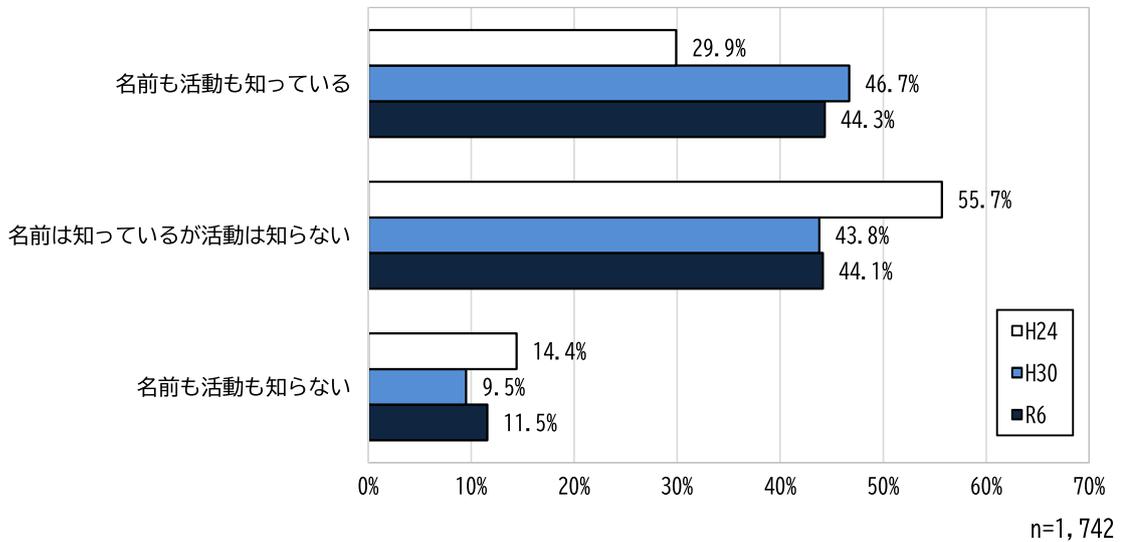
問 31 あなたの住んでいる地区の福祉委員を知っていますか。(S A)

福祉委員の認知度については、「知っている」が32.3%、「知らない」が67.7%となっており、前回調査よりも認知度が上昇していることが分かる。



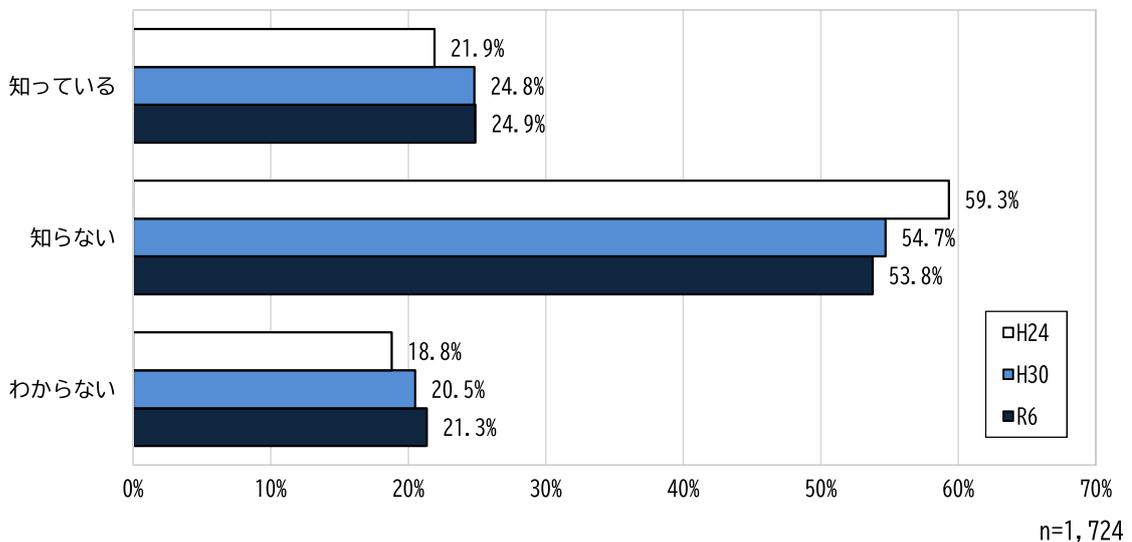
問 32 鷹栖町社会福祉協議会を知っていますか。(S A)

社会福祉協議会の認知度については、「名前も活動も知っている」が44.3%で、「名前は知っているが活動は知らない」が44.1%、「名前も活動も知らない」が11.5%となっている。



問 33 あなたは鷹栖町社会福祉協議会の会員であることを知っていますか。(S A)

社会福祉協議会の会員であることの認知度については、「知っている」が24.9%、「知らない」が53.8%、「わからない」が21.3%となっている。



問 34 鷹栖町の福祉行政や鷹栖町社会福祉協議会への意見や要望（自由記載）

分類	主な意見
医療・健康に関すること	<p>・独居に対する見守りの為にもWi-Fiを全家庭に設定するシステムがあると良い。定期的な保健師や看護師などによる健康相談。各地域における定期的な健康体操やリハビリテーション。健康教育。（女性：80歳以上）</p>
買い物や交通に関すること	<p>・高齢者が多くなっている。鷹栖には大きな店が無く車やバスを使って買い物をしなくてはならないが免許がなければ出かけることが出来ずにいる。近くにはおおきな西イオンがあり、間もなく一か所にもイオンが出来ていても足が無く、出かけることも出来ず家で過ごすことが多くなっている。気兼ねなく買い物できる交通手段を考えて欲しい。（男性：70～79歳）</p> <p>・高校・大学になると通学が不便。バスの減便に対して町バス・タクシー等で補って欲しい。町内のパート、バイトが乏しい中、旭川で働いても行き帰りの移動手段が無い。進学の見込みが少ない。買い物や遊ぶ所が少ない。（女性：40～49歳）</p> <p>・自宅近くにバス停があり便利ですが、これから先の路線維持、運転手不足、利用者数の減少等々先を見こした上で町としての対策をとっていかないと老後も住みづつけられる町としてはきびしいと思います。知り合いの方で免許返納された方がおり、電動アシスト自転車に乗り換えされたのですが、買い物に出るのも体力が必要で厳しい時があるし、バスは時間が予定に合わず困ることが多いとのことでした……。町の取組や補助などいつも助けていただいております。田舎だからこそできること（イベント等の活動など）も多く静かで住みやすい町だと思っています。（女性：50～59歳）</p> <p>・町内で働きたいと思っても、その場所まで行く足がない（車の免許や車がない）。家のそばから送迎バスとかがあれば、もっとアルバイトとか参加しやすくなる気がします。鷹栖町はバスが少ないので、高齢になったらもっと交通の便が良いところに引っ越ししなくてはならないかも……。と思っている。（女性：50～59歳）</p>
高齢者に関すること	<p>・年齢とともに今まで以上に町や協議会にお世話になる機会が増えてきている。現在のかかわり方をスキルとして、今できる事で少しでもお役に立てる自分でありたい。その為には健康が第一であることを強く感じてはいるが高齢化が進むと一番不安になるのはアクセスの問題と経済的な不安等が同時に重なってやってくることである。異変を感じたときは、いつでも相談し協力をお願いしたいと思っています。（女性：70～79歳）</p> <p>・スマホの普及についていけない部分が多々ある。操作の不安や画面を見ると疲れるのであまり使いたくない、は私だけなのでしょう？便利なのはわかりますが、時代についていけず、取り残されていく不安があります。まだスマホではないのですが、あまり不自由も感じません。そういう困り感を取り上げられる事がないので、もっと進んでいくと嫌だなと思っています。これが原因で人と関わるのがイヤな時もあります。このままではダメなのでしょうか？（女性：60～69歳）</p> <p>・老人世帯が通年をとおして安心して生活できる支援体制の充実を考えてほしい。①冬の除雪（家の前、屋根雪降し等）、②夏場の除草（年齢とともに今までしてきた家庭菜園の庭、畑が重荷である）、③通院等の車。上記の件が常に心配である。この地で暮らすことを望んでいるが……。子育て支援も大切だが高齢者支援にももう少し力を入れてほしいと思います。（女性：70～79歳）</p>
災害に関すること	<p>・自然災害発生時の対策強化を望みます（障害者・弱者）。シュミレーションの実施（訓練）。必要な課題検討（発生時の照会窓口はどこか等）・周知（広報等）。分かりやすいポスターを配付。（男性：50～59歳）</p>

分類	主な意見
子育てに関する事	<p>・寺小屋は子供たちがとても楽しみにしています。勉強に遊びがついてて最高！と喜んでます。子供が楽しく学べる場があると親も助かるし安心できます。この取り組みがもっと広まれば良いと思います。共働き家庭が多いのが現状で夏冬春休みをすべて一緒に過ごす事は難しいと思います。その間、子供達を少しでもあずかってくれる、外に連れて行ってくれる環境があるとありがたい限りです。(女性：30～39歳)</p> <p>・不登校対策、発達障害児対策のため、小・中学校内に作業療法士の方がいる部屋など設置し、集団に困難を抱える子供が孤立しない様早急に対策を考えてほしい。引きこもりが増えると治安が悪くなると予想できるため。発達障害のある子は甘やかしなどと言う考えが変わらない限り、困難を抱えた家族は、健常人たちから排除されることしかないと考え、孤立が進み、あつたかい町とは言えなくなると思います。(女性：30～39歳)</p>
支え合い活動に関する事	<p>・福祉の互助的なところが大変弱くなってきているような気がします。行政、機関、団体等の扶助的な面ばかりに期待が高く、一部の有志(志のある方)の負担が増すばかりです。何か妙案はないものか、私も真剣に考えてみたいと思っています。(男性：70～79歳)</p> <p>・活動内容がよくわかるよう具体的な内容を案内していただければ、協力できそうなことから協力していきたいと思っています。(女性：70～79歳)</p>
住まいに関する事	<p>・この土地で一人で生きていければいいと思っていましたが、一番不安に思っているのはゴミ出しの細かさです。60代前半ではありますが、いまだにガイドブックを見ながらやっています。正しく出さなければ置いていかれるのは仕方ないですが、名前を書く必要があるのでしょうか？そしてゴミ袋の種類の高さにも辟易します。迷惑かけないようにと分別を頑張りますがこれから70代80代となった時ちゃんとできるか不安です。今から少しずつもう少し楽なわかりやすい地域への引越しも考えています。(女性：60～69歳)</p> <p>・高齢のためゴミ捨てが大変です。ゴミステーションまで遠すぎてなかなか持って行けません。部落は広いので外にもゴミ出しに不便を感じる人は沢山いると思います。町で何か対策を考えてもらえないかと思っています。年齢の高い人により優しくないやり方だと思っています。(男性：80歳以上)</p>
相談体制に関する事	<p>・父が旭川市内に住んでいます。91歳で一人で住んでいます。母が3月に他界し色々大変でしたが、旭川市の対応が遅く何かにつれ大変でした。鷹栖では対応が早く義父母達がお世話になり感謝です。福祉では、他の市町村より対応が早いと思います。(女性：60～69歳)</p> <p>・相談にのってくれそうだが、なかなか困っていることにピンポイントでの支援や相談相手になってくれないことが残念です。課ごとの連携が薄く、できないで終わったり、他の課へ繋いでくれないこともある。結局諦めることに繋がってしまう。若い職員の電話対応、窓口対応に心が感じられなくて悲しい。(女性：60～69歳)</p> <p>・顔が見える距離感で相談しやすいと感じています。同世代(20代)の認知度や頼っても良いという認識はまだ少ないと思うけど、SNS発信はこれからも続けていきたいです。いつもありがとうございます。(女性：20～29歳)</p>

分類	主な意見
町内活動に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問 15 で「町内会活動をせざるをえない」と書いたが、小さな町内会でやらざるをえない。やることは仕方ないとも思うし、やって得ることもあるが、どうしてもやらない人もおり、不公平感がある。また、会議などに参加すると、役場等からのトップダウンで「あれやれ、これやれ」と言われるが、それは役場の仕事なんじゃないのか？と疑問に思うことも多い。町内会費も高く、これも税金の一種だと感じる（日本の税率は植民地並みだそうです）。（女性：50～59 歳） ・ いつでも住みつづけられるまち、それは住民に負担のないまちだと思います。鷹栖町は町内行事が多いので仕方ないと思いますが、班長さんの仕事がとても多いと思います。班長の仕事内容を町外の知人に話したら、鷹栖町には住みたくない・・・と言っていました。改善できることがあれば改善していただきたい。アンケート回収も班長さんの負担です。（男性：50～59 歳）
まちづくりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い頃はあまり社協との接点がなく、存在自体を知らないこともあります。介護などが始まり、初めてその存在やサービスを知り、もっと早く知っていればと思う。社協の存在を若い世代に知ってもらうことは大切です。（女性：60～69 歳） ・ 今まであったかステーションの事は知りませんでした。サンホールはびねすには行った事はありません。何か入りにくい感じがしていました。このアンケートで何の相談にもものってくれると言う事なので、必要な時は利用してみたいです。（女性：50～59 歳） ・ 健康福祉課の方ですが、「いきいき元気健康ひろば」に通って何年にもなりますが、80 歳以上の方も多く皆さん元気に通われていて、健康を保つ秘訣だと思っていました。でも今年から回数が減り、予算の関係と聞こえてきましたが、高齢化に向かって逆行している様に感じます。週 1 回出かけて来る事は、孤立を防ぐ上にも意義のある事だと思います。（女性：70～79 歳） ・ 自分自身は、40 代で転入しこの町で働いている訳ではないので、地域に貢献したいと考える。児童福祉、高齢者福祉と施策を分けることなく、本当の共生社会のために、考え方を改めるのが良い。高齢者グループホーム、障がい者グループホームなど分けず。また、放課後等デイサービスと高齢者の日中活動の場を同じくする。このような先進的取組を行っている自治体があると思う。このような考え方は、財政的にもメリットがあると思う。（男性：50～59 歳） ・ 限りある予算と携わる少ない人員の中で、苦勞して沢山の事業をしている事に感謝しています。でも、それらがバラバラに頑張っていて成果が小さくなっていく様に思います。今の予算と人員でひとつの方向に向かって動かないでしょうが、このままでは職員の方もオーバーワークになって、身動きが出来なくなってしまうのではないのでしょうか。もっとコンパクトに単純に、強いリーダーシップで取り組んで欲しい。（男性：70～79 歳） ・ 鷹栖町の福祉課の皆さんにはいつも大変お世話になっています。今後は、手が必要な人、手が貸せる人と上手くマッチング出来る様な場が出来ると嬉しいです。福祉業界は、どこも人手不足なので元気に働ける人とのマッチングが今後必要かなと思います。また空き時間に働けるといいなと思うのですが、なかなか合う仕事に出会えません。（女性：50～59 歳）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひきこもりの個人に対して積極的な働きかけがあるとよい。家族からの働きかけは逆効果になる場合も多いと思う。（女性：50～59 歳）